議会運営委員会　会議録

日　時　　令和８年６月２９日（月曜日）　午前１１時５８分～午後０時３０分
場　所　　臼杵庁舎２階　第４委員会室

出席委員の氏名

委員長　芝田　英範　　副委員長　匹田　　郁
委　員　山手　　耕　　委　員　匹田久美子　　委　員　戸匹　映ニ
委　員　大塚　州章

オブザーバー

議　長　伊藤　　淳　　副議長　甲斐　　尊

欠席委員の氏名

（　な　し　）

説明のため出席した者の職氏名

（　な　し　）

出席した事務局職員の職氏名

局長　尾本　　浩　　次長　小嶋　佳希　　主幹　柴田　　監　　書記　工藤真里子

傍聴者

（　な　し　）

協議事項

１．特別委員会の設置について
２．最終日の議事日程について
３．質疑・討論の取り扱いについて
４．全員協議会の開催について
５．次回以降（９月定例会の会期日程（案）について）
６．一般質問の総括について
７．その他

午前１１時５８分　開議

協議事項

１．特別委員会の設置について

◎事務局（小嶋佳希）

（　次第に基づき説明　）

〇委員（意見）

・調査期間が調査終了までとなっている。調査が終了せずとも、例えば２年で委員が変わった場合には、いったん終了という形になるのか、調査事件は引き続き調査するが、次の委員会に任せることになるのか。

→これまでも特別委員会は当初調査終了までということで閉会中の継続審査としていた。委員が２年間と言われたが、これまでも２年間で結論を得てきた。

常任委員会の正副委員長という充職の構成になっていることもあり、慣例でいけば２年後に議長も変わるということで、結論が出れば２年間で区切りをつけたいと思っている。

ただし、今回提案の調査内容が幅広いため、そのあたりは柔軟に動けるような形で、調査終了までということで提案している。

（　協議の結果　）　特別委員会の設置について了承

２．最終日の議事日程について

◎書記（工藤真里子）

（　次第に基づき説明　）・・・（　質疑なし　）

（　協議の結果　）　事務局案のとおり決定

３．質疑・討論の取り扱いについて

４．全員協議会の開催について

５．次回以降（９月定例会の会期日程（案）について）

◎書記（工藤真里子）

（　次第に基づき説明　）・・・（　質疑なし　）

（　協議の結果　）　事務局案のとおり決定

６．一般質問の総括について

〇委員　（意見）

・再質問で１度に２つ質問をした議員がいた。一問一答でお願いしたい。

・答弁が長く、質問時間がかなり削られた議員がいたと感じた。執行部に対してのお願いになるが、もう少し配慮してもらえたら。

・冒頭のあいさつについて、一般質問は執行部と議員の議論の場であるため、他への呼びかけなどしない方がよいのではないか。
・執行部の答弁があまりに長かった。新人議員には丁寧な説明にということかもしれないが、もう少しコンパクトにしてもらいたい。再質問の時間が限られてしまう。
・執行部と自分（議員）のやり取りを見てもらえればよいと思うので、挨拶は簡略化すべきではないか。
・６０分の時間を超える議員はいなかった。
・答弁が長いというのは、執行部が丁寧に答弁したいという表れだと思う。それを１度の答弁で引き出すのか、再質問をして引き出すのか、議員も質問のテクニックを磨いていく必要がある。

〇委員長（芝田英範）

一般質問の日程について、人数の割り振りについては、これまで議長が事務局長と協議して決定をしておりましたけど、今後は、一般質問を各日に何人行うか、議長の意向を踏まえて、議会運営委員会で決定するようにしたい。

〇委員（意見）

・今回、事前にＬＩＮＥで告知があり、配慮をしてもらったと思う。これが、例えば質問の順番に変更がある場合は、議運にかけることになると思うので、議長の意向も含めて、最初から議会運営委員会で決めたほうがよいと思い、意見した。
→今回は､議長と協議して試行的に実施した｡決定する場としては議会運営委員会があるため、９月定例会から議会運営委員会で決定いただきたいと事務局では考えている。
・人数の目安などはどのように考えるのか
・通告書が提出されてから議会運営委員会を開くまでに、これまでどおり議長と事務局長で協議して、提案してもらえたらよい。
→議会運営委員会を開くまでに議長と協議をして、日程を提案することとしたい。

（　協議の結果　）

・次回９月定例会より一般質問の日程について、議長の意向を踏まえて議会運営委員会で決定する。
・一般質問の答弁について、議会運営委員長より執行部に申し入れを行うこととする。

７．その他

①閉会後の発言の申し出について

◎事務局長（尾本　浩）

（　説　明　）・・・（　質疑なし　）

②その他

〇委員（意見）

・予算委員会でもあった、丸尾川雨水渠整備工事について、執行部から議会への報告が遅いのではないか。問題が発生した場合に、予算を伴う大きなものになるのか、そこまでいかないのかわからないが、執行部が市長に報告する段階で同時に議長にも報告するなど、報告体制について申し入れをしたほうがよいのではないか。危機管理にも関係すると考える。

・議会ＢＣＰを策定している。できれば年１回程度訓練する機会を設けてもらいたい。

〇議長（伊藤　淳）

報告体制について、後日改めて報告があった際に、今後は、結果だけではなく途中経過も議会に説明するよう申し入れている。

（　協議の結果　）

・議会への報告体制について、改めて市長に対して議長より申し入れを行う。

・議会ＢＣＰに関連する訓練については、実施に向けて議長と事務局で検討する。

午後０時３０分　閉会

臼杵市議会委員会条例第３０条第１項の規定により、ここに記録を作成する。

令和８年６月２９日

臼杵市議会

議会運営委員会委員長　芝田英範